

Hitch your wagon to a star!

第1学期中間考査終わる ～PDCAサイクルの確立へ～

去る5月20日(木)～25日(金)まで中間考査が実施されました。2年生へ進級して初めての定期考査でしたが思うように学習を進めることができたでしょうか。「もっと早く学習を始めるつもりだったのに・・・」「ワークまで手が回らなかった・・・」「試験が始まったら覚えていたはずの公式が全部飛んで行ってしまった・・・」など、あちらこちらでため息とともにしくじりの声が聞こえてきます。3年生になるまでに残された定期考査はあと4回しかありません。残された4回で満足できる結果を残すためには、どのようにすればよいのでしょうか？

PDCAサイクルという言葉聞いたことがある人もいると思います。これはもともと企業など品質管理・業務管理における継続的な改善手法として用いられてきたものですが、学習の成果を挙げる有効な方法として広く使われるようになってきました。Plan(計画する)・Do(実行する)・Check(評価する)・Act(改善する)の頭文字を取ったもので、まさに学習効果を最大限に引き出すことができる手法とも言えます。試験前に学習計画表を配布しているのも「PDCAサイクルの確立」を目指したもので、計画表をしっかりと利用して次回こそ自分自身が納得できる成果を挙げてほしいと思います。

学習計画表を使って

- ①目標を設定する(具体的な目標を掲げます)
- ②計画を立てる(教科書のページ数など具体的に記入することが大切です)
- ③実行する(スマホが大敵です)
- ④結果に対して反省と評価を行い、目標設定や計画についての改善点を考える

期末考査は約1ヵ月後の6月29日(火)から始まります。また7月3日(土)にはベネッセ総合学力テスト(全員受験の模擬試験)が行われます。まずは目標設定から始めましょう！

※タイトルの Hitch your wagon to a star. とは「汝の馬車を星につなげ」と訳され、「大きな夢を持ち、その夢の実現に向かっていこう」という意味です。アメリカの作家であり、哲学者、思想家でもあるラルフ・ワルド・エマーソン(Ralph Waldo Emerson)の言葉です。

□6月7月の行事予定

6月	3日(木)	面接週間(～11日)
	9日(水)	保護者会(3年次選択科目説明会)5, 6校時
	10日(木)	避難訓練
	11日(金)	漢字検定
	23日(水)	生徒会立会演説会
	29日(火)	期末考査(～7月2日)
7月	3日(土)	ベネッセ総合学力テスト(全員)
	8日(木)	朝読(～16日)
	10日(土)	数学検定
	14日(水)	進路別見学会
	19日(月)	球技大会(～20日)
	21日(水)	終業式
	25日(日)	夏季課外(～29日) ※5日間 希望者
30日(金)	体験入学	

マリールイズさん講演会 ～教育が未来をつくる～



昨年度、コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったマリールイズさんの講演会が先週の5月26日(水)に男女共生センターにて1年越しに開催されました。事前学習としてマリールイズさんの故郷であるルワンダについて学習し、その後、ルワンダの内戦をテーマとして「ルワンダの涙」を鑑賞しました。昼食後の講演会ではマリールイズさんのルワンダ、そして日本での体験談から教育の大切さ、そして当たり前前の生活を送ることができることの尊さを知ることができました。教育を受けた者に託された先人の夢や希望、その意思を受け継ぐ我々が創造するよりよい未来の実現…ユネスコスクールである安達高校で学ぶ一人として、自分ができることを考えてみましょう。

生徒の感想 (一部抜粋)

素晴らしい感想がいっぱいありました♪

世界では今も奪われる必要のない命が奪われている国や過去にそのようなことがあったという現実を知った。誰一人取り残さない世界を作るためには戦争はあってはならない。戦争をなくすことは簡単ではないかもしれないけれど、みんなが安心して暮らしていくために、教育を受けて言葉を使えるようにすることも戦争のきっかけを作らない大切なことだと知った。今まで世界のことに目を向けてこなかったけれど、これをきっかけに世界を知り、現状に目を向けていきたいと思う。

日本からしたら字が読めるのが「当たり前」だが、ルワンダにとってはその「当たり前」が「当たり前」ではない。私はシンガポールに行ったことがあり、その時に水道の水を飲み水にしない方が良いと言われた。これも日本では安全な水だから飲み水にできるのが「当たり前」だ。こうした「当たり前」なことが毎日の生活の中で「当たり前」にできている私たちはそれに感謝しなければならない。

ユネスコスクールで学ぶ生徒として、ESD活動を真剣に取り組み、自分の考えたことをもとに、他の人たちの役に立つことができると良いと思った。

自分たちにできることは、学校の授業をしっかり受けて、その学んだことを自分のもの・宝物にできるようにこれからの高校生活を過ごしたい。

文字と教育の大切さを学んだ。マリールイズさんがお話しされた「間違っただけを続けると一生間違っただけ」「今日の勉強は今日中に振り返る」「すべて学んだことは自分を助ける宝物になる」ということを大切に生活していきたい。文字を書ける、読めることのありがたさにも感動した。

教育の良し悪しで人の心が変わってしまう。悪い方向に向かってしまったのがルワンダの内戦。日本も同じだった。愛国主義を強いられ、やりたくないことまでさせられた。その過去があったから今の幸せと平和があるのだと思った。

生きていて学ぶすべてのことはいつか役に立ち、それが自分を助けてくれる。また、未来を切りひらき可能性をひろげてくれる。私たちは当たり前になっている生活を大切に、そこから得られる学びを大切にしていけることができる。また、学校に行くこと、授業を受けることをもっと大切にしていけることができる。

自分は実際に戦争を経験したわけでも、被爆したわけではない。なので、マリールイズさんの講演会は貴重なものだった。講演の中で「役に立たないって思っていた知識があったおかげで助かることができた」というお話があり、勉強することは決して無駄ではないと感じた。今回の講演会では世界を知ることに加えて、自分を知ることの大切さを学んだ。それらについて知るために、学ぶことを怠らないようにすることがまず自分にできることだと思った。

マリールイズさん、珠玉の名言

文字を読むことができることは本当に素晴らしいこと

間違いを指摘してくれる先生ほど有難い。正しく覚えて自分のものにするだけで、それが自分を支える宝物になる

無駄な教科、勉強はない 何が将来の自分に役立つかわからない

情報を得る、知識を得ることが力となり、戦争のない平和な世の中を創り出す

子どもは安心して眠れると夢を語る

教育を受けると限りのない可能性を手に入れることができる

すべての人の願いが叶う

素敵な世の中の実現のために私たちができることは何か…

ESD活動で自分たちなりの答えを探し出そう

